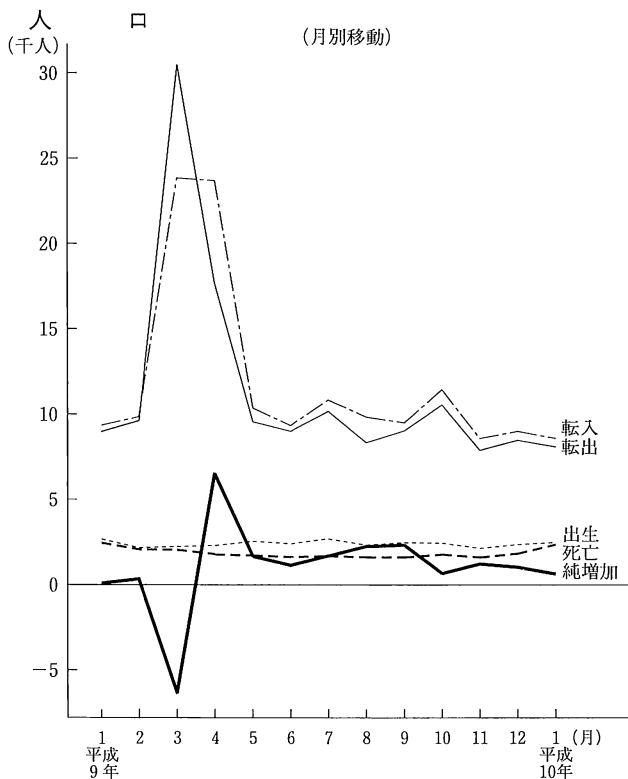
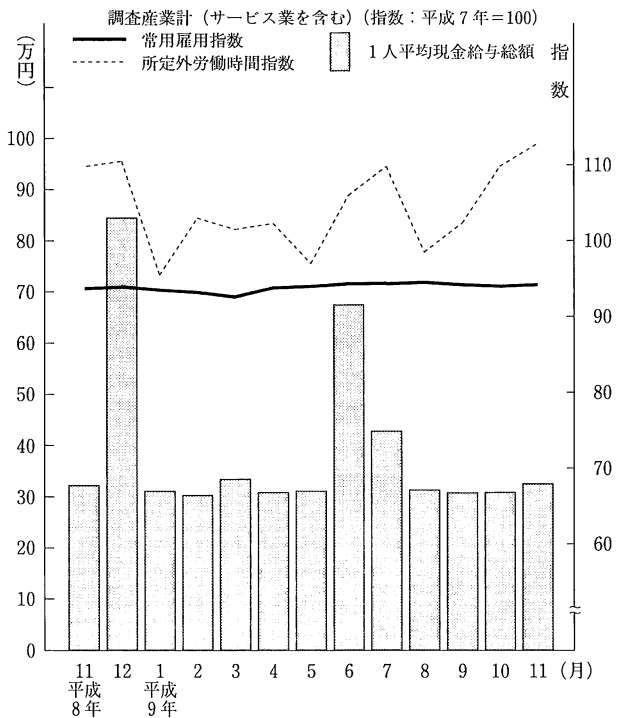


今月の主な動き



賃金・労働時間・雇用



■人口 (10年2月1日)

1月の概況

本県の人口は、1月中に637人増加し、2月1日現在で2,985,996人(男1,490,958人,女1,495,038人)となった。

内訳は、自然動態で、125人(出生2,498人,死亡2,373人)増加し、社会動態で、512人(転入8,586人,転出8,074人)増加した。前年同月と比べると13,216人(0.4%)の増加である。

市町村別では、増加が11市37町村,減少が9市26町村,増減なしが2町である。

世帯数についても1月中に827世帯増加し、959,368世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用 (9年11月)

1. 平均時間の推移

11月の現金給与総額は、調査産業計で325,061円,対前年同月比1.3%増,このうち,きままって支給する給与は310,360円,対前年同月比2.0%増であった。また,このうち,所定内給与は280,167円,対前年同月比1.7%増であり,超過労働給与は30,193円,対前年同月比5.2%増であった。

なお,物価上昇分を差し引いた実質賃金は,対前年同月比0.7%減であった。

2. 労働時間

11月の総実労働時間は,調査産業計で161.2時間,対前年同月比3.6%減であった。このうち,所定内労働時間は146.2時間,対前年同月比4.3%減,所定外労働時間は15.0時間,対前年同月比2.7%増であった。

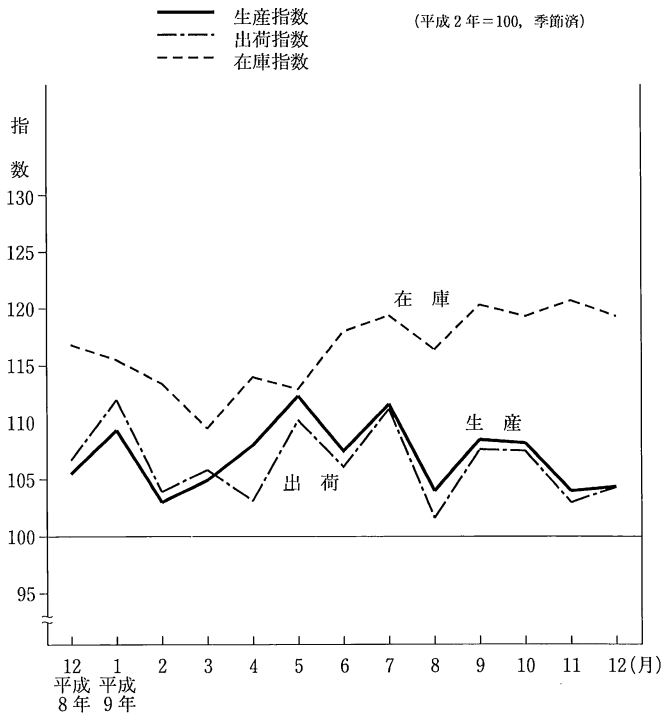
3. 雇用の動き

11月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると,対前年同月比0.5%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。

なお,事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

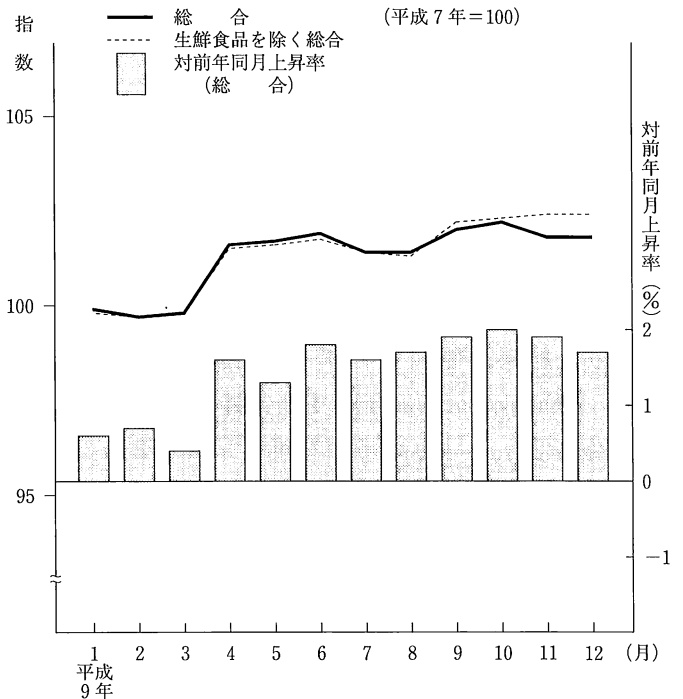


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（9年12月）

本県における平成9年12月の“鉱工業指数”（平成2年＝100）は、季節調整済指数で、生産が104.4、出荷が104.3、在庫が119.3で、前月比は、生産が0.4%の上昇、出荷が1.3%の上昇、在庫が1.2%の低下であった。前年同月比（原指数）は、生産が1.1%の低下、出荷が2.2%の低下、在庫が2.1%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、一般機械工業、非鉄金属工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、食料品・たばこ工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業等が低下した。出荷では、石油・石炭製品工業、非鉄金属工業、一般機械工業等が上昇し、電気機械工業、食料品・たばこ工業、鉱業等が低下した。在庫では、一般機械工業、電気機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、金属製品工業、精密機械工業等が低下した。財別にみると、生産では、その他用生産財、資本財が上昇し、建設財、非耐久消費財が低下した。出荷では、その他用生産財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、鉱工業用生産財が低下した。在庫では、資本財が上昇し、その他用生産財、建設財等が低下した。

消費者物価指数



■ 消費者物価指数（9年12月）

平成9年12月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で101.8（平成7年＝100）となり、前月比もちあい、前年同月比1.7%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……魚介類4.2%、飲料1.3%、身の回り用品0.8%

今月の下がった主な項目……果物5.1%、油脂・調味料3.3%、他の光熱0.8%

生鮮食品を除く総合は102.4となり、前月比もちあい、前年同月比0.2%の上昇であった。

■ 費目別指数

(平成7年=100)

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.8	0.0	1.7	保健医療	112.8	0.0	10.7
食料	99.9	0.3	0.6	交通通信	98.7	△0.2	0.0
住居	102.2	0.1	0.6	教育	106.3	0.0	2.9
光熱・水道	105.0	0.0	1.1	教養娯楽	100.1	△0.1	2.4
家具・家事用品	97.0	0.0	0.0	諸雑費	100.9	0.0	1.4
被服及び履物	109.9	△0.4	4.4	生鮮食品を除く総合	102.4	0.0	0.2